

令和3年6月5日

## 令和2年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人平成医療学園  
平成医療学園専門学校

自己評価結果に基づき、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下の通り報告いたします。

### 1. 学校関係者評価委員（企業等委員）

齊藤 真吾 （明治国際医療大学 講師）  
臼木 万里 （おかげ堂うすき鍼灸整骨院）  
並川 一利 （なみかわ はり・きゅう院）

### 2. 事務局

中谷 裕之 （平成医療学園専門学校 統括長）  
北野 吉廣 （平成医療学園専門学校 校長）  
高木 保子 （平成医療学園専門学校 統括長補佐）  
竹本 晋史 （平成医療学園専門学校 教務部長）  
土岐 明寛 （平成医療学園専門学校 柔道整復師科学科長）  
上野 暁生 （平成医療学園専門学校 鍼灸師科学科長）  
内野 容子 （平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科学科長）  
栗本 久美 （平成医療学園専門学校 日本語学科学科長）  
藤本 正治 （平成医療学園専門学校 事務次長）

### 3. 開催日時および場所

- (1) 開催日時：2021年6月5日（土） 15:00～16:00  
(2) 開催場所：平成医療学園専門学校 第1校舎4階

### 4. 議事報告

項目	評価・意見
基準1 教育理念等	<ul style="list-style-type: none"><li>● 教育理念・目的・育成人材像等は明確に定められており、ホームページ等にて学内外に周知されている。</li><li>● 引き続き、人材育成に力を入れてもらいたい。</li></ul>

項 目	評価・意見
基準 2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎年度、学園全体で部門ごとに事業計画書を作成し、理事会、評議員会の承認を得て、実施している。</li> <li>● 学校運営組織として、教務会を最高決定機構とし、学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会を設置し、外部委員の意見を取り入れながら学校運営を行っている。</li> <li>● グループウェア、オンラインサービスの活用により、業務の効率化ができています。また、コロナ禍におけるリモートでの対応に伴い、Wi-Fi 環境の整備を進めている。</li> </ul>
基準 3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各学科の概要・学習目標について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復師科 伝統的な手技療法や技術を習得し、臨床力を身につけるとともに信頼される人間力を備えた柔道整復師の育成を目指している。</li> <li>・鍼灸師科 基礎医学である西洋医学を学び、そこに東洋医学の知識・技術を積上げることによって両方の観点から病態を考察することのできる教育を行っている。</li> <li>・東洋療法教員養成学科 東洋医学をより深く学び、知識と技術を修得し、優れた臨床能力や教員としての指導力、科学的思考力を兼ね備え、即戦力となる医療人、教育者を育成することを目指している。</li> <li>・日本語学科 日本での進学・就職を目標に来日した学生に対し、将来的なコミュニケーションに困らない日本語力を身につけることを目標としている。具体的に日本語能力試験（JLPT）の N3・N2 の合格を目指している。</li> <li>・応用日本語学科 日本語学科を修了したものの、より高度な日本語を身につけたい学生に対し、能力の底上げを図り、日本語能力試験 N2・N1 の合格、ワンランク上の進学を目指す。</li> </ul> </li> <li>● 各学科のカリキュラム編成について、関係法令および規則等に基づき、適正にカリキュラムが設定されている。</li> <li>● 医療専門課程においては、臨床実習等を通じて、業界が求めるニーズレベルを学生に理解してもらうことを期待する。 加えて、国家試験に合格する学力を養い、卒業後に役立つ専門知識や技術の修得を目指している。</li> <li>● 文化・教養専門課程においては、学生のニーズを分析し、学科教員全員で設定した教育編成を行っている。</li> <li>● 教員については、研修制度を設け、教員個々のキャリアアップを図りたい。</li> </ul>

項目	評価・意見
基準4 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和2年度の国家試験合格率において、柔道整復師科では93.8%、鍼灸師科では、はり師97.7%、きゅう師100%と、両学科ともに全国平均を上回る結果となった。学生個々の学習進度を勘案した教育により、成果が見られた。</li> <li>● 日本語学科、応用日本語学科の進学率は98%であり、教育および進路指導の成果であると考えられる。</li> <li>● 柔道整復師科および鍼灸師科の就職率について、国家試験の結果後に就職活動を行う学生が多いため、業界側の配慮も必要である。</li> </ul>
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生と教職員との心理的距離が近く、それによって学生も教職員に相談し易い環境があり、きめ細かい支援ができています。</li> <li>● 退学率低減への取り組みとして、担任制であることから退学の前兆である行動を早期に把握し、退学を回避する方法を学生と模索することにより、退学率の低減を図っている。</li> <li>● 令和2年度においても、本校は高等教育の修学支援制度の対象校として認定された。また、学納金納付管理業務の見直しを行い、慢性的な経済的困窮者や、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けた学生について、適切な対応を行った。</li> <li>● 卒業生からの支援要請について、同窓会に適宜支援の依頼をする。毎年度、卒業生向けの講習会を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートでの開催となった。</li> </ul>
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公的機関の資料を参考に、災害対応マニュアルを策定した。また、防火管理者の講習に職員を参加させ、防火管理に関する知識の習得を図った。</li> </ul>
基準7 学生の募集と受入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入学選考については、適正に実施されている。遠方の受験者においても、WEBを利用し、適宜選考を行った。</li> </ul>
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 財務の情報公開については、事業報告と財務状況を、ホームページ上に公開している。</li> </ul>
基準9 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法令等を遵守して運営されており、学生にも法令遵守の教育を行っている。</li> </ul>
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により、学外での活動が制限され、ボランティア活動や社会貢献活動等はほとんど行えなかった。しかしながら、教員によるスポーツチームへのトレーナー活動や、学生による学校近辺の清掃活動等の一定の活動は行うことができた。</li> </ul>